

(11月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		21,844	101	24,290	230	95	208	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>みかん類は表年であり小玉化傾向。</li> <li>台風18号の被害もなく、外観、食味ともに仕上がりは順調。</li> <li>販売は極早生から厳しい状況が続く、早生に切り替わっても価格は弱含みの展開。</li> </ul>
りんご類		9,517	97	8,865	206	103	253	3,256	34.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>出荷量は、前年を下回るが平年並の予想。</li> <li>価格は、表年であった前年よりやや高い見込みであるが、みかん類、かき類が潤沢に入荷する中、りんご類は10月に引き続き安値基調での推移する見通し。</li> <li>外観、食味の仕上がりは良いが、小玉果比率は高い。</li> </ul>
かき類		8,749	104	8,058	187	98	224	581	6.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡、奈良、岐阜産とも台風被害は軽微。</li> <li>果実肥大は平年並。</li> <li>価格は他の品目に比べ堅調で、前年並に推移する見込み。</li> </ul>
かき(平核無)		3,498	100	2,976	172	96	211	565	16.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>主力産地が和歌山、奈良産から新潟産にシフト。</li> <li>新潟産は着果量もあり、着色も順調。例年どおり10月最終週から始まる。</li> <li>価格は刀根早生から軟調に推移しており、平核無に変わっても引き続き厳しい見込み。</li> </ul>
なし(ラ・フランス)		1,565	105	1,235	211	91	288	1,533	98.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形県産は2年続きで豊作型。新潟県産のル・レクチェは豊作だった前年を下回るもののほぼ平年並。総体として不足感はない。</li> <li>ラ・フランスは前年比安でスタートしており、11月も引き続き軟調で推移する見込み。ギフト需要で引き合いが強まるのは12月からとなる。</li> </ul>
いちご類		675	97	752	1,535	102	1,633	1	0.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>定植は概ね順調に終了しており、大きな気象災害がなければ、計画通りに入荷する見込み。</li> <li>果実総体の販売が厳しい中、いちご類の価格は前年並を維持する見込み。</li> </ul>